



就任ご挨拶

織りなす布

老人保健施設ベルヴューハイツ  
施設長 近藤 利彦



千載一遇のチャンスに恵まれ、野球に例えれば、エースで四番にご指名いただき、誠に心より感謝します。

内科入局時、山本正彦教授より、「自己犠牲」「滅私奉公」「献身」の言葉をいただき、正にこれが正義と思い実践してまいりました。

瀬戸市内の中央病院・井上病院で、内科・小児科医として、外来・入院・救急外来当直を四十年間、一日も休まず、無事にこなしてまいりました。私にとって仕事が趣味

で、趣味は仕事でした。あだ名は、赤ひげ先生、ケーシー高峰でした。

六月一日より老人保健施設ベルヴューハイツ施設長兼医師として、職員皆さんから御指導をいただき、チームプレイに徹し、御利用者様の過去と未来を繋げていく、その間の人生をここで過ごして、とっても楽しかったと思われ、尚且つ御家族様にも満足される様、「安全」「安心」をモットーとして、私の出来る事を最大限だしていく所存です。

出生地 豊川市国府町  
高校 愛知県立国府高等学校  
大学 名古屋市立大学  
好きな言葉 健康・感謝  
挨拶・健康・感謝

気を引き締め

麗楽荘副荘長  
兼 和光ハイム相談員  
相山 由里子



さて、私ことこの四月、前副荘長夏目民夫氏の後任として和光ハイム相談員を兼務してですが、特

別養護老人ホーム麗楽荘副荘長を拝命致しました。副荘長の大役を仰せつかり、今までに感じたこととの無い責任の重大さをヒシヒシと感じてきています。しかしお受けした以上、荘長の右腕となるよう広く知識を深め、そとしてご利用者、職員、後援会、地域の皆様のご意見に耳を傾け施設を発展的に導いていく覚悟です。

また、副荘長は法人での業務執行についても多く関わりを持つことにもなります。法人なくして施設はありません。反対もまた然りではありません。今後法人業務が重要と言われれています。一誠福祉会本部事業計画を改めて拝見してもさらに強く感じます。

まずはご利用者の皆さんが今を楽しんでいただくため、コロナ禍で難しいことも多々ありますが、出来る限りの行事を実施し柔軟に対応していきたいと思います。重圧にも気負うことなく目の前の業務をひとつひとつ確実に覚え邁進していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願致します。

## コロナ禍

キュウリが毎日  
とれる面白さ

(福)一誠福祉会 評議員

後援会 豊橋

会長 井上 賢照

緊急事態宣言が解除され、行動制限も緩和となり、ようやく外出を楽しめるようになりました。

早速、新しい道の駅と食菜館へ行くことにしました。ここは人気のある施設でお客さんも多く、駐車場は常に満車状態で、車を停めるのが大変です。

さて、道の駅には食堂やレストランもあり、お土産品もいろいろ揃っており、植木や生花もあります。次にとなりの食彩館に行き、入口のところで、マスクを忘れたことに気づき、一瞬困った顔をしていたところ、そばに手造りのマスク

を売っており、一枚三百円で買わされました。

今年はどこへ行くにもマスクが必要品ですね。

食彩館には豊橋と田原で生産された新鮮な野菜の苗がいろいろあり、私は急遽これに取りつかれました。

とりあえず、プランターで出来そうな、キュウリとナスの苗を買いました。

翌日には、カーマへ行き、プランターと野菜用の土や肥料を適当に買い、キュウリを六本、ナスを二本、さしあたり植えました。

私にとって、家庭菜園は人生ではじめての経験です。ので、要領がよくわかりません。そんな折、いつもよく来る、家内の弟が、親切に支柱をセットしてくれました。私は毎朝、水やりを忘れず、苗の成長を楽しみにしておりました。

ところが一週間もたたないうちに、苗が急成長し、キュウリとナスの実がつき始めました。

今や六本のキュウリは毎日、二・三本採れるようになり、近所の人におすそわけするほどです。

ナスはまだこれからのようですが、間もなくたくさん採れそうです。



はじめて収穫したキュウリです

プランターでの家庭菜園は誠に興味深く、いろいろな野菜づくりが楽しめそうです。

皆さんもやってみてはいかがでしょう。

## 孫たちの現況から

(福)一誠福祉会

評議員 原

基修

学びの場を離れ、はや2カ月。やっと学校に行けると思ったら先日、休業延長の発表があり5月31日までとなった。

私には、今日の状況を知る事のできる2家族5人の孫たちが小中高に在学している。高校は新1年と3年、中学2年2人だ。

親は共働きで、孫は月曜から金曜までの5日間、わが家に来る。4月の間、月水金曜日は昼食を用意するが、最近、家内からメニューが尽きてきて、困惑していると言われた。特別なことはしなくてもいいと言っているが、インスタントやパック弁当では、と気を使っている。家内に見せてみる

と、おばあちゃんのランチが良いと孫たちに言われることが励みになり、孫のおだてが元気の源になっているようだ。

しかし、そんな環境にある子どもたちは少ないと思う。この事態になるまでは学校給食だったが、今は親が家を出る前に昼の弁当を作って置いてゆく。またお金を渡していく家庭もある。

学童保育の子どもたちはどうしているのだろうか。親の負担は物心両面で、今までにないほどの重圧がかかっていることが想像に難くない。

収入が激減したパートやアルバイトの家庭は、父子、母子家庭は大丈夫だろうか。三度の食事はもとより、栄養バランスの取れた食事が与えられているか。心配だ。国家や都市形成の原点は「人口」を想定している。

人数ではない。ひとが生きていくため「口を満たす」事を示しているのだ。

私たち（戦前、戦中派）が過去に味わった、つらくてひもじい思いはさせたくない。それゆえに国そして地方首長の方々、四の五の言わず、早くめどをつけてほしい。「遠くの百より近くの五十」だ。

そして、将来の国を背負って立つ子どもたちの学習のことも気になる。高校生の孫は学校へ二度三度出校し、それなりの課題が渡されているためか「食傷気味だ」など勝手なことを口走っている。中学校の2人は4月に出校し、宿題（課題）が手渡された。先週は新たに教科書からの課題学習の指導が出たという。

小学校は4月の出校時、中学高校と同様に課題は渡

されたが、その後は母親へのメールに「家庭訪問いたします」と記されていたが、まだ来ないと孫は言う。電話では5月以降になるとのことだ。

こと有事の際の処し方はいろいろある。出校するクラスを分ける、地域別、時間別、曜日、PTAなど、学校が、先生が、地域が、孫たちの「学校に行きたい」という思いを少しでも満たしていただけたらと思う。

私は学校評議員を6年にわたって委嘱され、地域の一員として学校教育に携わってきた。家庭や地域と一体となって大きく子どもたちの知恵・徳育、そして体育をどのように進めていくか、必死に取り組んでいる小中学校や先生方の姿を見てきた。

緊急事態宣言が出ている

今、耐え忍ぶ、我慢する、群れて学ぶ、考えて行動する、他を思いやるなど、これまで教科書にない貴重な体験をして学ぶ事の大切さを皆が学習した。

新型コロナウイルスの鎮静化を願う私たち日本はもとより、国際社会と共に、私たちは未来を託す子どもたちのために夢や希望、そして明るい未来を構築していく責任を忘れてはならない。

軽はずみな行動は避け、ひとつになつて耐え忍ぼうではないか。子どもたちを守り、そして自由と民主主義を守るためにも。

（令和2年4月30日、東愛知新聞掲載）



## 何事にも前向きで

(福)一誠福祉会後援会豊橋  
理事 杉原 見代氏

私はこの二ヶ月ほとんど自宅と会社で過ごしました。毎年巡って来る花の季節、楽しかったはずのゴールデンウィーク、今年は百年に一度あるかないかの大騒動が中国の武漢で勃発、コロナウイルスこの疫病はたった二ヶ月であつたという間に国内はもとより全世界に拡散した。このため政府は連休明け第二段の非常事態宣言が五月三十一日迄全国一斉に発令、我々は過去に味わったことのない生活を余儀なくされましたがその後解除、これですべて終了ではなく、これからは今迄に体験したことを守り続けなければ直ぐに二波、三波が到来しますから。

私は若い頃から高校野球の大ファンです。夏が来るときまって二人の息子の時代、その後二人の孫息子を連れて憧れの甲子園球場へよく出掛けました。選手達の熱気、応援合戦、現地でしか味わえない雰囲気は今思い出しても体が熱くなる。昨年の大会では地元の(桜丘高校野球部)が今一步のところで甲子園出場かなわず実に残念でした。今シーズンこそはと思いきや今度はコロナウイルスのため選手達は自宅待機!!おぎゃーとこの世に生まれて十八年幼い頃から野球に興味を持ちながら憧れの甲子園出場を目指し練習に励んできた球児たちに掛ける言葉、今は浮かばない。今回甲子園の「山」は喪失しましたが、これまでに体験したことがこれからの人生に必ず役立

つ時が来ます。がんばって! NHKの朝ドラ「エール」、作曲家古関裕而さんと豊橋出身内山金子(きんこ)さんをドラマ化、毎朝テレビに釘付け、「エール」にはまっておられます。私は古関先生の曲の中から長崎の鐘、君の名は、豊橋市歌など、この五月にプラットで演奏させて頂きたかった。妻の音さんは常に主人公の古山裕一さんを助け何事にも前向き、すぐ行動する!このような女性が豊橋に住んでいたなんて嬉しくて、しょうがない。私ほども「大きな力」をもらいました。いつの日か実現できますことを祈りつつ、東京オリンピックの実現のためにもコロナが一日も早く終息することを願っています。

私は三年前の五月七日の午後、豊橋駅前のプラットで八十歳(傘寿)感謝の記念演奏会を開催させて頂きました。楽器はピアノ、ウッドベース、ギター、ドラム、アコーディオン、大正琴、六人のメンバーでした。曲目は故郷、月の砂漠、誰か故郷を想わざる、長良川艶歌など十五曲、私はアコーディオンを上手に弾けませんでしたが皆さんがリードしてくれました。客席とステージとが一体になり、一時間半があつたと言間に過ぎました。これから夏本番です。マスク着用も大事ですが熱中症にも十分ご注意下さい。これからの人生を共に楽しく過ごしましょう。



傘寿感謝の記念演奏会

## 風物詩

## 豊橋祇園祭

## ⑥ 悪疫退散の花火

(株)文光堂代表取締役 藤 倉 康 晴

平成29年以来3年ぶり  
6回目の機関誌「作楽」  
への寄稿となります。

豊橋の夏の楽しみと言  
えば、豊橋祇園祭の手筒・  
打ち上げ花火大会ですよ  
ね。残念ながら今年は  
「コロナ禍」によって花  
火大会は中止となってし  
まいました。

今年の夏は、豊橋祇園  
祭だけではなく全国的に  
もほぼ全ての花火大会が  
中止になってしまったの  
ではないでしょうか。そ  
んな中、去る6月1日に  
は、全国約160社の煙火業  
者による『CHEER UP!  
花火プロジェクト』が午  
後8時に全国で一斉に打

ち上げられました。「コロ  
ナに打ち勝とう」「ともに  
頑張ろう」、悪疫退散を祈  
願し、全国の人たちに希  
望と元気を届けたい！花  
火を見上げて「笑顔」に  
なってもらいたいと思い  
を込めて。豊橋祇園祭で  
も協力いただいている、  
豊橋煙火・加藤煙火もプ  
ロジェクトに参加し、花  
火を打ち上げました。



「悪疫退散」を祈願して

歴史的記録では日本最  
古の花火大会は、享保の大  
飢饉で犠牲となった人々  
の慰霊と悪疫退散を願っ  
た享保18年(1733)の  
「両国川開き」と呼ばれ、  
現在の隅田川花火大会だ  
と言われています。しか  
し、ここ吉田の地ではそ  
れ以前から悪霊や疫病を  
駆逐する火の力と天王信  
仰が結び付き、吉田藩の  
庇護のもと、吉田城内天  
王社祭礼(現在の豊橋祇  
園祭)の花火として手筒  
だけでなく、打ち上げ花  
火なども行われていたと  
言われています。

江戸時代から続く、花  
火大会が行われたいのは  
残念ですが、今年は規模  
を縮小しながらも、吉田  
(豊橋)の安泰、そして  
新型コロナウイルスの早

期終息も願い、祭礼関係  
者のみで神前手筒奉納・  
例祭を行います。(※一般  
の方は入場出来ません)  
花火には、夜空に輝く  
美しさや音の迫力だけ  
なく、人々に勇気や希望  
を与えるチカラがありま  
す。来年の夏はいつもの  
ように、多くのスポンサ  
ーのご協力をいただき、  
各煙火会社が最高の花火  
を造り、たくさんの方が  
美しい花火を楽しみ、笑  
顔と歓声があふれる豊橋  
祇園祭花火大会が開催出  
来る事を願っています。



夜空に咲く大輪の花

特 技

## サッカーアモーレ!

老人保健施設ベルヴューハイツ 理学療法士 村 松 佑 斗

小学 2 年生から始めてもう 25 年以上、私はずっとサッカーをしています。趣味と聞かれれば間違いなくサッカーと答えるのですが、学生の頃は部活やスクールなどでほぼ毎日、社会人になった現在も仕事が終わった後の練習と日曜日の試合で、週 3 日サッカーをしています。私にとってサッカーはもう趣味を通り越して生活の一部になってしまっています。

くれた先生がとても優しく親切だったことが、理学療法士を目指すきっかけにもなりました。現在所属しているチームには選手が約 25 人、年齢も高卒の 18 歳から大学生、上は 40 歳の選手もいて幅広い年齢層となっています。仕事も皆、多種多様で日曜日に勤務となる人もおり全員が試合や練習の日に集まれる訳ではありません。そんなチーム事情ですが、東三河の中では強豪で、私が所属している間に社会人の全国大会に 2 度出場したりしています。

そのため、練習から学生時代の部活のように厳しくボールを使った練習だけではなく走り込みばかりをやる時もあります。在籍人数も多く試合も全員が出られる訳ではなく趣味のサッカーとはいえない本気でプレーしています。普段から本気でプレーしている分、試合で勝った時の嬉しさも負けたときの悔しさも大きいです。全国大会で負けたときには泣いているメンバーもいたくらいです。

練習を乗り越えて仲間と勝利の嬉しさを味わえる青春時代の続きをしているような楽しさがあるからだと思います。ちなみに私の年齢はチームで上から 3 番目なのですが私がサッカーを始めたときのヒーローだったキングカズこと三浦和良選手は 53 歳で未だ現役でプレーしています。つい先日 4 歳の息子がサッカーを習いたいと言ってくれました。日曜日は試合がある為遊んであげられない事も多く、もしかししたらサッカーを嫌いなならないかと少し心配もしていたのですが、息子と一緒にサッカーを楽しむ為に私もまだまだ現役で頑張りたいなと思えました。

委員会報告

新しい制服となつて

特別養護老人ホーム作楽荘  
看護師 阿部 里美

「この5月より各職種の制服が新しく変わりました」と、言葉にすると一言ですが、ここに辿り着くまでには色々な苦労がありました。昨年の8月より制服見直し委員会を設立し、数回に分けてカタログ等を見ながら熱心な話し合いを重ね11月末にようやく案がまとまりました。

制服選びのポイントとしては、素材・速乾性・動きやすさ・デザイン等を基準に男女問わず着る事のできるカラーにも拘りました。

実際に新しい制服で入所者の方々に接すると



モデルと比べてはダメですよ

「服、変わったの？」と声を掛けてくださる方や、また意思表示が困難な方が私の服を掴むといった反応が見られました。このような変化は入所者の方に、とても新鮮でいい刺激になると関わりを通して感じたと同時に、この変化を大切にしていきたいと思いました。

今後は、新たな制服を着用し心機一転、入所者の方々の為に頑張りたいです。

一体感を目指し

GHきらら  
介護士 横井 祐二

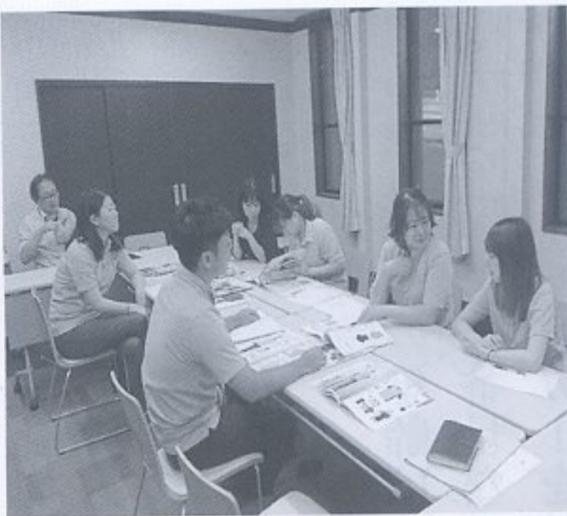
昨年の8月、職場会議の中で、「職種ごとに制服が統一されず、管理面・コスト面でも制服を一新する必要性がある為、制服見直し委員会を設立する」との趣旨説明があつた後、そのメンバーに推挙されました。

突然の指名で不安は募りましたが、同時に新しい制服はどんなものになるのだろうか？と期待もありました。

8月末から11月末までの間に委員会は5回行われ、初回の委員会では制服が決定するまでの説明が鈴木本部次長よりありました。その後の委員会

では、色々なカタログの中から気になる制服に付箋を付け、色合いや着心地、機能性はどのようなか？と様々な議論を交わし候補を5つ程に絞った後、サンプルを用意、実際に試着し最終案を決定することができました。

各職種で制服が統一され、どの施設へ行っても同じ制服である事から、一体感が生まれると思います。年度が始まり新しい制服となり気分一新、業務を頑張つて参ります。



白熱した議論が飛び交う

## 懐 古

## 過去の編集後記を再掲載

今号の掲載記事の話題もやはりコロナ関連内容が多くなつてしまいました。What's news? 新しい話題が誌面を飾る日を待ちつつ、今回は以前機関誌「作楽」に掲載された編集後記（7月号）を再掲載させていただきます。ご笑覧下さい。

(T・A)

## ◆第69号（平成10年7月）

夏は夜。月のころはさらなり。やみもなほ蛍の多く飛びちがひたる。又ただ二つ二つなどほのかにうちひかりて行くもをかし、一かの有名な清少納言が、随筆「枕草子」に綴った名文の一部である。「ただ一つ二つなどほのかにうちひかりて……」こんな情景を意外にも、自

宅付近で見る事ができた。

闇の中、一、二匹の蛍がつれだって幽かに光って飛んでいたのである。その自然の光の美しさに感動。慌ただししい現実からしばし抜け出し、心休まる一瞬であった。私は夏が大好きである。そして「夏は夜」である。その季節が今年もやってきた。四季の移ろいを大切に、年を重ねていきたいものだ。

(K・S)

## ◆第83号（平成12年7月）

目には青葉

山時鳥

初松魚

初夏の季節感を出した山口素堂の俳句である。4月1日以来、介護保険制度の対応に超多忙な日々。

忙中閑ありのある日、縁側より眺める山々は青一色。緑の風が心地良いぬれ縁に

て、鮎の塩焼き肴に飲む○○のうまいこと。嗚呼人生に悔い無し。(A・S)

## ◆第97号（平成14年7月）

気持ちの良い「挨拶」は、少し声高が良い。

何気なく、交わしている日々の挨拶も簡単なようで、難しいのかもしれない。その日の心のおきどころによるものであるが、本人は、いつもとかわらぬ挨拶をしているつもりが、相手にとっては、違って受けとめられてしまう。

明るい挨拶は、気分も明るくならず。その明るさは周囲に及びそれが、また自分に返ってくる。心穏やかに努めたいものである。(H・A)

## ◆第181号（平成26年7月）

和食・出目金・らんちゅう……といえば、何の種類だ

かお分かりですね。

この時期、豊橋や新城の夜店でも見られる夏の風物詩。魚鱗をゆらりゆらりと振りながら泳ぐ金魚は、何とも涼しげです。

さて、ここ麗楽荘の事務カウンターの水槽では、色とりどりに鮮やかな、美しい金魚の群れが、いつもお年寄りの目を楽しませてくれています。

そのあでやかな姿かたちは見る人に涼や美や癒しを与えてくれます。また金魚すくいなどは古き佳き過去への郷愁をも感じさせてくれます。

認知症予防にも効果有りとして、お年寄りにとって金魚は、百薬の長かもしれませぬ。

ちりぢりに

金魚泳ぎて

万華鏡

(T・A)

# 施設だより

## 地域包括支援作業荘

### ○包括便り「さくら」

主任 ケアマネ 渡邊 弘

地域包括支援センターでは、地域の方々を対象に定期的に出前講座を開催しています。講座を通して高齢者の介護予防に取り組んでいます。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、地域へ出向くことが難しい事態になっています。この様な状況の中でも何かできることはないかと模索、事業所で仕事をする時間が増えたこともあり、包括便り「さくら」を発行することになりました。

便りは町内の回覧板を

使って情報発信させて頂きます。運動不足の解消を目的に自宅で簡単にできる運動を紹介しました。なるべく見やすく、誰でも簡単にと考え、紙面のレイアウトを試行錯誤し、発行に漕ぎ着けることができました。運動以外の情報も載せたかったと思う所もありましたが、それは次号以降に活かしていきたいです。



運動不足解消のため

回覧にご協力頂きました中野校区自治会の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 作業荘

### ○テレビ面会始めました

事務員主任 石田 澄香

インフルエンザに続いて新型コロナウイルスが拡大するなか、「面会制限」も延長され、ご利用者ご家族にはたいへん淋しい思いをされていることと思います。この状況をなんとか打開しようと作業荘で始めたのが「テレビ電話面会」です。かつて購入したタブレットを使用してのオンライン環境が構築され、面会が実現可能に。これなら密なしに画面越しではあるもののお互いの顔を見て会話ができるというわけです。

早速ご案内してみると、やはり外出を自粛されてか直接会って話したいと

いう思いからか、思ったほど予約は混み合っておりません。しかし面会していただいたご家族からは「久しぶりに顔が見られて安心した、ありがとう」と好評です。ご利用者からもとても嬉しそうな笑顔がこぼれていました。

案内文が届いた後にはご家族からマスクなどの衛生材料をたくさんご寄附いただきました。ありがとうございます。



久しぶりに家族と面会

## 美光ハイム

### ○映画鑑賞会を開催して

相談員主任 一番ヶ瀬 智佳子

去る5月17日、閉じこもり防止や入居者同士の交流を目的として、今年度第1回目の映画鑑賞会を開催しました。昼食後というと、お腹も満腹、お昼寝タイムには最適な時間帯：と思いきや、多くの方が参加されました。事前に入居者の皆様へリクエストを募りました。「お腹を抱えて笑うほど、面白い漫談が観たい」との声が集まり、『綾小路きみまろエキサイトライブ』に決定。「久々のお化粧！落ち着く先はシワの中！」「昔は乙女！今は太め！」などポンポンとテンポよく漫談は続

きます。大いに笑って、心スツキリ！皆さん抱腹絶倒！コロナも悩みも笑い飛ばせば心晴れ晴れ気分爽快！のご様子。「昔はそうだったわね」と良き昭和・若かりし頃が蘇った入居者達の会話も聞かれました。笑い声をあげ、満面の笑みで鑑賞されている姿は最高ですね。素敵なお顔を見るため、二回目以降も工夫を凝らしていきたいです。



笑いで免疫力アップ

## 倶楽荘

### ○イベントランチ

介護士 高岡 志穂

6月10日に、特養Aユニットにてお寿司のイベントランチを行いました。前日から久しぶりのお寿司に楽しみにしている方もいました。当日食事の時間になり食事を提供すると、思っていたよりも量も種類もたくさんあり、びっくりされてしまいました。皆さんいつもより箸の進みも早く笑顔で召し上がっていました。私も部署異動して初のイベントランチ参加だったので、楽しんでいただけけるか不安もありましたが、当日は皆さんにとっても喜んでいただけて大変嬉しかったです。

食事は、生活の中心でもあり毎日の楽しみでもあると思います。今は面会の制限や外出自粛などで我慢していただくことが多いので、機会があれば普段施設では食べられない食事などを、イベントランチや季節ごとの行事で楽しんでいただけたらいいなと思います。今後も楽しんでいただける企画を考え、それを提供できるように頑張りたいと思います。



やっぱりお寿司は最高！

GHくらら

○心に寄りそった介護

介護士 関口 玲子

令和元年11月、作楽荘からグループホームくららに異動となりました。初めは慣れない環境での勤務で不安でしたが、職員の皆様にご指導して頂き、半年が経ちました。グループホームの入居者の皆様は温かな家庭のような雰囲気の中で生活されており、皆様の笑顔が見られると安心して嬉しくなります。

買い物は毎日出掛け、健康や好みを考えての献立、13人分の調理も皆様と対話しながら一緒に行います。

一人一人の生活習慣を大切にしているため、個

浴はとても快適な様子ですし、トイレはその方のタイミングで介助に入ります。季節の行事、ボラントイア教室もあり、毎日行いうレクリエーションは「今日は何をするの?」と楽しみにしてくれています。どんな時もそのニーズに応え、一人一人を見守っています。



料理は修業中!

心に寄り添う優しい対応で、入居者の皆様がいつまでも四季折々の美しさを共に喜べるように、介護スキル・マインドを磨き頑張ります。

新楽荘

○コロナ禍の中で出来る事

介護士 小山 竜馬

未曾有のコロナ禍は今までの生活を激変させ、非常事態宣言が解除された現在も再拡大の危険性は依然として考えられ、まだ収束の気配もみられません。

三密(密集・密閉・密接)の回避は今や常識となっていますが、それに伴い施設の対応も変化しました。テレビ面会の実施、ボラントイアの受け入れ中止、運営推進会議・涉外活動の減少や外出行事の自粛など、地域との接点が増えています。

特に涉外活動として予定していた「多目的室の

地域への開放」「介護教室の開催」などの計画延期はもちろん居室事業所への訪問営業も自粛となり、電話営業が主になっています。

このコロナ禍がいつまで続くか見通しがつきません。現状では出来る事は限られています。安全を確保しつつ状況の推移に併せ工夫をこらし対応していきたいです。



アクリル板での対面面会の再開

## ベルヴューハイツ

### ○自家製味噌づくり

管理栄養士副主任 野澤 千鶴

当施設の介護士藤城さんから昨年、手作りの味噌をいただき、お勧めの野菜をスティックにしてその味噌を付けて食べてみると、「何と美味しい、今迄食べてきた味噌は何だったのだろう」と味噌の豊かな香りと味わいに驚愕し、大変感動しました。その味噌で作った味噌汁も、格別な美味しさで料理上手になった気分でした。この美味しさを皆さんと味わいたいその思いで今年は施設で味噌作りに挑戦しました。

レシピはいたって簡単。水に漬けた大豆を煮て潰し、麴と塩と煮汁を加え



皆さん手馴れています

て混ぜるだけ。入所されている方は我が家で作った時を思い出したのか手馴れた手付きで大豆を潰していきます。次によく混ぜて団子状にした味噌玉を、空気を抜くために皆さんと職員とで樽に力一杯投げ込みます。そしてそれを敷き詰めれば仕込みは完了です。

熟成は今年の秋。皆さんと手前味噌を食し、食欲の秋を堪能したいと思います。

### ○久しぶりの屋外行事

行事委員長 大野 雅弘

ベルヴューハイツでは毎年五月と六月、行事委員会を中心にバスハイクを企画・実施してまいりました。しかし今年は新型コロナウイルスの影響で外出事が自粛となり、スケジュールは真っ白となってしまうました。そこで屋内での生活に飽き飽きしている皆さんに外の空気を楽しんでもらいたいと、職員にアンケートを実施したところ、「外で簡単に食べられる大好きなみたらし団子を提供したらどうか」との意見が大半であったため、六月十日みたらし団子祭りを開催しました。



自然と笑顔がこぼれます

前日までは暑く晴天が続いていましたが、その当日は雨が降ってしまい急遽、屋根のある場所に移し決行。久しぶりの屋外、ましてやみたらし団子ということ、いつも以上の笑顔と食欲に職員一同が驚くばかりでした。

来年こそは新型コロナウイルスが収束して、バスハイクに参加してもらって、沢山笑顔になってもらって…。願いはつきません。

○「花咲く小径」拡張

看護師 鈴木 洋子

二年前のある日、利用者さんから「ホテルナデシコというきれいな花をDSC吉かわで咲かせて見たら？」とご提案いただき、早速挑戦しました。期待通り花が咲き、その種を採って、翌年はさらに規模を拡大し、今春には満開の花を咲かせたことは前号のお便り「DSC吉かわ花満開活動」でも触れています。咲き誇っている様子を見ては「いつ種を採るのかね？」と関心を示されていた方もチラホラ。そして、とうとう種の収穫期となりました。利用者さんたちと一緒に小

さな種粒を小袋に入れましたが思っていた以上に小袋が出来上がりました。せっかくなので、日頃お世話になっているケアマネージャーさんや関係者の皆さんにお配りしようと考えました。この種が市内のあちこちで芽吹いてくれれば、それはDSC吉かわの花咲く小径が広がったものと皆が嬉しくなることでしょう。



非売品ですっ!!

○ステイホーム

介護士 中村 楓花

毎年恒例の有教館高校からお花が届きました。コロナウイルス感染防止により外出する事が出来なかつたため、綺麗なお花が届くと皆さんとても喜ばれていました。早速ベランダに出て鉢にお花を植え替えました。「この花はなんていう花だったかね」などと自然に会話しながら和気藹々と時間は流れていきました。また、去年植えたペチュニアがとても綺麗だったのでそれを押し花にすることにしました。皆さん手馴れた手つきで花びらがしわにならないよう綺麗に広げながらノ

トに挟んでいきました。お話を伺ってみると若い頃押し花をすることが楽しみでよく作られていたそうです。皆さん完成が待ち遠しいと言われていました。



綺麗にできるかな？

なかなか外出が出来ない今、皆さんもお庭に咲いているお花で押し花を作ってみてはどうでしょうか？ペチュニアの花言葉のように「心の安らぎ」を求めて…。

## ◆ デイサービス麗楽荘 ◆

### ○「ドライブレコーダー」

介護士副主任 金田 智

運転中に「あつ危ない」と思った事は、皆様も何度かある事と思います。また、所謂「あおり運転」にも遭遇された事もあると思います。前方車の急ブレーキや幅寄せ、後方車からのパッシングもまさにそれに該当します。相手は深く感じていなくても、後方車との車間距離が近いとストレスを強く感じる方が多いかと思えます。そのような時にドライブレコーダーがあるとトラブル解決に良いなと思っていたところ、後援会新城の皆様からドライブレコーダー3台を寄付していただきました。



安全運転で送迎します

職員には嬉しい贈り物と思うと同時に、一層安全運転に心掛けなくてはならないと、身が引き締まる思いでした。ドライブレコーダーは、画像の録画録音は勿論ですが今では様々な機能があります。その機器を事故対策だけに活用するのはなく、美しい景色とご利用者の笑い声を収められるものとして考えればきっとそれが安全運転に繋がると思います。

## ◆ 和光ハイム ◆

### ○アフリカ滞在記①

入居者 大木 勇夫

アフリカ旅行の出発前にガイドさんから、「本日は全盲の方お一人様が、一緒に旅行されます。私一人でお世話をしますので皆様にはご迷惑をかけません」という内容の電話が入った。集合場所で待っているとガイドさんが話していた白い杖をついた彼がやって来た。参加者6名の成田→ドバイ乗換でバマコ（マリ共和国の首都）への旅が始まった。この旅で彼が僕の鼠ではないことに僕は気付いてしまった。「寝袋は持って来たけど懐中電灯は持って来なかったんだ」と、ジョークをと



はるばる来たぜアフリカ

ばしたり、目明きどもの質問で、「目が見えなくて旅行は楽しいのか」には、「旅は目だけでなく風の匂い、肌にあたる日の光等で全て楽しめますよ」と答えた。ガイドさんも忙しく僕が彼の右腕をガツチリと組み一緒に歩くと、「大木さん、わし逮捕されたみたいだ」と言ってエスコートの仕事を教えてくれた。無事旅行も終え、彼の手紙を見ると東京の盲学校の校長先生だった。



## 〇〇好意を励みに

介護士 牧野 大也

新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言が解除されたのを皮切りに、色々な事が緩和されましたが、完全に収束されたわけではありませんので、まだまだ気の抜けないのが現状です。そんな中、茶臼山厚生病院の國松院長先生が、4500枚もの医療用マスクを麗楽荘グループに寄贈してくださいました。

自粛が緩和され始めて薬局にマスクが並ぶようになってきましたが、医療・介護現場においてはまだ十分な数があるとは言いきれません。第二、第三波が訪れた際に再度

マスクが不足になる事態になりかねないので、今回のマスク寄贈については本当にありがたく感謝の極みです。麗楽荘グループ職員一同この場をお借りして心より御礼申し上げます。國松院長先生、本当にありがとうございます。

今回の感染拡大で何かが起こってからでは遅い、常に何が来ても良いように備える事の大事さを痛感しました。

自分も仕事や私生活において今後起こりうる事態を想定し、落ち着いて冷静に対応出来る様に、法人のモットーである「Be Prepared (備えよ常に)」を胸にきざみ、危機管理に努めたいと思います。



## 〇母の日会を催して

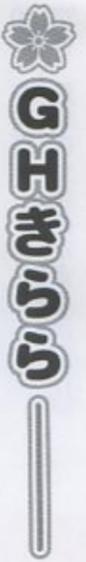
介護士 山本 麻衣

本来であれば毎年5月は、砥鹿神社のお祭りへ出掛けるはずでしたが、新型コロナウイルス禍のため、施設内で出来る事はと考えると、日頃の感謝を伝えるべく「母の日会」を行うことにしました。

外に出られないストレスを癒しに変えられたらと思い、ハンドマッサージ・ネイル・メイクを入居者の女性陣に実施することとしました。ネイルやメイクには、若返りの効果があるそうです。普段からお化粧をされる方でも、いつもと違う化粧品を使うだけで鏡を見ながら、「別人がおるみた

い」と恥ずかしそうにさながら嬉しそうにされていきました。「昔のお化粧はねえ」と会話も弾み自ら進んでメイクをさしている方もいました。中には男性の入居者が、「俺にもやってくれよ」と泣きそうな顔でネイルをして欲しいと懇願されている方もいて、ネイル施行後はとても嬉しそうに他の入居者に見せびらかしていました。

皆さんの笑顔をたくさん見る事ができ私たち職員も楽しいひと時を過ごさせてもらいました。まだまだ外出の規制がありますので、入居者の方が楽しいと思う事・笑顔の増える事を施設内で実施していけたらと思います。



○「菜園活動」

介護士 城所 十三子

「育てる、過ごす、感じる、収穫する、食べる」は人間の生活の基盤とも言われます。園芸やガーデニングにはこれら5つの要素がすべて含まれ、抑うつ的な部分を改善させる効果があると報告されておられ、高齢者の方には「生きがい」や「楽しみ」につながります。

体の不調から屋外に出られない方は園芸活動が難しいという側面もありますが、日々の変化を楽しみながら習慣的な菜園の取り組みを行う事で、生活の質(QOL)の維持・向上、抑うつや認知機能

へのポジティブな効果が期待されます。

きららの菜園は昨年、畑用に土を購入し畑面積を拡張しました。それにより、多くの作物を植える事が出来ました。しかし、予定通りには作物は育たない事が多々あるものです。それでもしっかりと手を掛け、面倒を見れば、それなりの出来栄になるのではと信じて、皆さん楽しんで活動しています。



立派に育つように

本部 日誌

- 令和2年5月
- 21日 法人監事監査(於 作楽荘)
- 25日 採用選考筆記(於 作楽荘)
- 27日 令和2年度第一回理事会(於 作楽荘)
- 令和2年6月
- 10日 本部会議(於 斯楽荘)
- 17日 令和2年度定時評議員会(於 作楽荘)

作楽荘 日誌

- 令和2年5月
- 5日 端午の節句
- 10日 母の日
- 11日 給食会議
- 13日 寿司祭り
- 17日 誕生日会
- 28日 連絡会議
- 令和2年6月
- 3日 中野地区民生委員定例会(包括於 中野地区市民館)
- 6日 福岡地区民生委員定例会(包括於 福岡地区市民館)
- 8日 給食会議
- 9日 寿司祭り
- 11日 職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊於 清水センター)
- 15日 包括業務打ち合わせ会(包括於 豊橋市役所)
- 17日 職種別会議(保健師職)(鈴木於 清水センター)
- 21日 父の日
- 23日 職種別会議(社福)(大塚・白井於 豊橋市役所)
- 25日 連絡会議

美光ハイム 日誌

- 令和2年5月
- 3日 カラオケ練習会(10日・12日・17日・24日・26日・31日)
- 5日 端午の節句
- 10日 母の日
- 17日 映画鑑賞会
- 21日 美光教室(体操於 6階食堂)
- 28日 茶話会

29日 健康チェック

- 令和2年6月
- 1日 あじさい観賞会(於 6階食堂)
- 2日 筋力低下予防体操(講師 清川機能訓練士・榊原機能訓練士、9日・20日)
- 7日 カラオケ練習会(9日・14日・21日・23日・28日)
- 14日 父の日
- 22日 美光教室(七夕飾り作り於 6階食堂)
- 24日 健康チェック

倶楽荘 日誌

- 令和2年5月
- 9日 特養リーダー会議
- 27日 倶楽荘連絡会議
- 30日 誕生日会(Bユニット)
- 令和2年6月
- 10日 イベントランチ(Aユニット)
- 24日 イベントランチ(B・Cユニット)
- 27日 誕生日会(Bユニット)

GHきらら 日誌

- 令和2年5月
- 14日 誕生日会(A・Bユニット)
- 27日 倶楽荘連絡会議
- 令和2年6月
- 24日 倶楽荘連絡会議

斯楽荘 日誌

- 令和2年5月
- 11日 給食会議(於 作楽荘)
- 18日 連絡会議
- 令和2年6月
- 1日 ユニトリリーダーミーティング
- 11日 手作りおやつ(Cユニット)
- 18日 ミーティング(Aユニット)
- 25日 連絡会議(於 作楽荘)

ベルヴューハイム 日誌

- 令和2年5月
- 2日 菖蒲湯(5日)
- 11日 テレビ電話面会開始

- 19日 連絡会議
- 25日 温泉フェスタ(30日)
- 27日 本部会議
- 31日 誕生日会
- 令和2年6月
- 9日 職種別会議(堀内主任於あいトピア)
- 10日 みたらし団子祭り(入所・デイケア)
- 15日 業務打ち合わせ会(堀内主任於市役所)
- 19日 職種別会議(保健師)(山崎・羽田 於あいトピア)
- 22日 温泉フェスタ(27日)
- 23日 職種別会議(社会福祉士)(菅沼於市役所)
- 28日 誕生日会

DSG吉かわり誌

- 令和2年5月
- 4日 季節の花週間(9日)
- 5日 端午の節句の会
- 12日 消防設備点検(常友保守センター)
- 22日 習字教室(講師 佐藤先生)
- 23日 ミーティング
- 令和2年6月
- 15日 芸能慰問(金田ひよこ様)
- 17日 お楽しみ会
- 20日 和太鼓慰問(吉川太鼓「鼓流」)
- 22日 季節の花週間(27日)
- 26日 習字教室(講師 佐藤先生)
- 27日 ミーティング

麗楽荘日誌

- 令和2年5月
- 4日 菖蒲湯(9日)
- 5日 端午の節句
- 12日 給食会議
- 15日 寿司祭り
- 20日 連絡会議・入所判定会議
- 20日 誕生日献立
- 令和2年6月
- 9日 給食会議
- 10日 書道クラブ
- 15日 入所者健康診断(7月3日)
- 18日 生け花クラブ
- 19日 連絡会議・入所判定会議
- 20日 寿司祭り
- 23日 新城市介護認定審査会(夏目)

25日 誕生日献立

和光ハイム日誌

- 令和2年5月
- 1日 和の会
- 6日 五平餅作り
- 11日 テイクアウトの会(どんどん弁当)
- 12日 給食会議
- 15日 寿司祭り
- 18日 おやつ作り(焼きそば)
- 20日 誕生日献立
- 25日 八名バラ園・黒田クレマチス観賞
- 28日 健康チェック
- 令和2年6月
- 1日 親睦会(わかきや・どんぐり)和の会
- 8日 バスハイク(赤塚山公園・菖蒲)
- 9日 バスハイク(赤塚山公園・菖蒲)給食会議
- 10日 生け花教室(加藤輝子講師)
- 13日 クラフトバンド教室(森谷講師)
- 19日 連絡会議
- 20日 寿司祭り
- 24日 書道教室(加藤美代子)
- 25日 誕生日献立
- 29日 健康チェック

GTEKグループ日誌

- 令和2年5月
- 3日 柏餅作り
- 7日 お庭でランチ(施設内)
- 令和2年6月
- ※すべての行事中止

奇楽荘日誌

- 令和2年5月
- 2日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)
- 13日 母の日会(ハンドマッサージ・お化粧・ネイル)
- 令和2年6月
- 6日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)
- 15日 父の日会(たこ焼きパーティー)
- 17日 ばんやさん訪問販売(初回)
- 25日 誕生日会

GTEKグループ日誌

- 令和2年5月
- 5日 柏餅作り・菖蒲湯
- 12日 訪問診療(宇利)
- 14日 訪問診療(吉祥)
- 19日 防災訓練
- 24日 俺ん家食堂
- 令和2年6月
- 2日 訪問診療(宇利)
- 4日 訪問診療(吉祥)
- 28日 俺ん家食堂

作楽荘グループ・BVHグループ・麗楽荘グループ



作楽荘グループ・BVHグループ

施設概要・ブログ等を公開

お詫び

機関誌「作楽」前号222号3頁、令和2年度(福)一誠福祉会事業計画の執筆者に左記のとおり誤りがございましたので訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

記

(誤) 社会福祉法人一誠福祉会

本部長 後藤 英夫

(正) 老人保健施設ベルビューハイツ

事務長 青山 勉

編集後記

新型コロナウイルス感染症の対策として電車の窓開けへの協力が求められています。

私が子供の頃は乗客が窓の開け閉めをするのは当たり前で、窓を開けることは長時間電車に乗った時の気分転換の一つでもあったことを覚えています。いつしか車両の空調が整備されると、車窓の役割の一つである換気機能は不要と判断され、開閉できない固定窓が増え、窓を開けるという習慣も見られなくなりました。しかしその後起きた車両事故などで見直しが行われ、現在では開閉できる窓が増えてきていることです。

各施設では未だ正体不明の感染症対策に大変かと思われ、このような時だからこそ、忘れられた様々なものを見直す機会にできればと思います。(K・F)